

小樽市立北陵中学校

小樽市清水5番1号

TEL 0134-24-5500

KOMPEKI

紺碧



《校訓》
よりよく創る

《教育目標》

小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

子どもは大人が気にすることを気にするようになる！ 校長 岡本 清 豪

「子どもに伝える言葉の影響」について紹介します。森俊夫氏・黒沢幸子氏の共著「解決型ブリーフセラピー」に書かれていた事例です。「問題がどのようにつくられるのか」ということを説明するために、少々盛った？ 作り話ですので、それを踏まえてお読みください。

☆

〔森〕問題がどうやってつくられるか、そのプロセスをお話しましょう。

中3の女の子と母親が夕食をとっていました。このお母さん、とても観察力の鋭いお母さんで娘のことをよく観察しています。観察によると、食事の際、娘さんは通常一分間に120回ほど嚙んでいます。ところがその日は90回しか嚙みませんでした。ここまではいい。これくらいの観察力をすべてのお母さんに持っていただけると大変ありがたい話です。しかし、お母さんは、「どうしたの。食欲ないの？ ムカムカする？ そう言えばちょっとと顔色も青いわね」と言うわけです。で、娘さんはふと、「そういえば、今日、食欲ないな」と考えます。そして、「言われれば確かにムカムカする。ここに食べ物が入っていく感じ。食べているのですから、ノドに食べ物が入っていく感じが当然あるでしょう。」

「あなたの好物なんだけど…おいしくないかしら？」と言って、お母さんも食べます。「いつもと変わらない。何かあったの？ 学校でお友達に何か言われたの？」。それは何か言われてますよね。すると、「そういえば、A子ちゃんに何か言われた。あまりいいことじゃなかった」「そう。先生からも何か言われた？」「うん、授業中うまく答えられなかった。怒られたわけじゃないけど、ちょっと嫌みを言われた」。それくらいのことは、何かしらあるでしょう。さらに「あつ、そうか。来月は期末試験だよ。自信ないの？ もう中3で受験もあるし、期末試験くらいでご飯が食べられなくてどうするの！」。

ある意味で事実です。期末試験が来月あるのも、不安なもの。「今からこんなじゃ、本当の受験のときにどうするの？ 吐いて行けなくなっちゃったら。勉強も大事だけど何よりも体調管理が大事。ご飯なんて食べなくなったら食べなくてもいいのよ。具合が悪いときは、バツと吐いちゃえば楽になる

から」。娘さんはどんどん不安を高めていきます。「確かにそうだ。受験の時どうしよう。今からこんなで。吐いちゃえばいい？ うん」。娘さんはトイレで今まで食べていたものを吐いてしまう。

いつも120回嚙む娘がその日は90回しか嚙んでいなかったという、お母さんの観察は正しい。でも、その観察に「食欲がない」「ムカムカ」「受験ストレス」という言葉で意味づけを加えたわけです。

もしかしたら、娘さんにはちょっと気になる男の子がいて「今日の彼、素敵だったなあ」と物思いにふけっていただけかもしれません。しかし、そこにお母さんがどんどん問題に関する言葉を与えていった。もしその娘さんが、お母さんの言葉に対して「違うよ。今、ちょっと彼のこと考えててね。おいしいよ、お母さん。ありがとうね」と返していたら、トイレに駆け込んで吐くということはないわけです。

問題というのは、こうしてしばしばつくられるものです。最初は何もなかったところに、少なくとも問題と言わなくてよかったものに「問題」という名前をつけ、その感覚が共有されるうちに、どんどん「問題」は大きくなり、本当の「問題」をつくってしまったのです。

☆

部活や習い事、生徒会活動などで、とても忙しい生活を送っているにもかかわらず、その忙しさを楽しんでいるように見える子どもがいる一方で、それほどやることはなくとも、ほんの少しのやるべきことになかなか向き合えず、追いつめられてしまう子もいます。この違いも、私たち大人たちに少なからず責任があるのだと思います。

子どもは大人がこだわることにこだわります。気にすることが気になるのです。ここでは「マイナス」の影響を与える言葉について取り上げましたが、「プラス」の影響を与える言葉だってたくさんあります。また、時には何も言わないことも大切かもしれません。

この話を思い出すたびに子どもたちと接することの難しさを考えます。これからもっと言葉を大事にしていかなければと思います。

ここがすごいぞ！北陵生！

令和4年度『絆づくりメッセージコンクール』～いじめやネットトラブルの根絶を目指して～において、管内公立学校の児童生徒から「ポスター・メッセージ」105作品(個人のみ)の応募があり、本校3年3組の本間この葉さんが見事！奨励賞に入賞しました。すごいね！本間この葉さん！おめでとうございます！！

【入賞作品】

強がるな
つらい時こそ
友囲う



バスの見回り活動

10月4日～7日までの期間、PTA育成部を中心に子どもたちの安心・安全、マナーの向上を目的として、バス停の見回り活動を実施しました。参加したPTAの方々からは「学校の先生も保護者も子どもたちの様子を知りたい機会となった」等の声が聞かれました。次年度以降も子どもたちのために継続していきます。



全国学力学習状況調査の結果から「学校と家庭での取組」

先日、4月に実施された令和4年度の全国学力・学習状況調査について「本校の結果および今後の取組について」文書配布をさせていただきました。

【国語】「話す・聞く」「書く」「読む」全ての領域で全国平均を下回りました。

【数学】「数と式」「図形」「関数」の領域で全国平均を下回りました。特に「説明すること」の問題での無回答率が目立ちました。

【理科】「生命」「地球」の領域では全国平均を下回っていますが、「エネルギー」「粒子」の領域は全国平均と同程度でした。「考察の妥当性を高めるために実験の計画を検討する問題」において無回答率が非常に高い結果となりました。

【生徒質問紙】「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」という項目に対する意識が全国を大きく下回りました。この結果を受けて、本校では以下の取り組みをしていきたいと思っています。家庭の協力なしには実行できません。ぜひ、子どもたちのために同じ方向を見て一緒に取り組んでいきたいと考えます。

＜学校の取組＞

【国語】特に課題のあった「書く」領域について、授業中でも意識して活動を組み込んだり、NIEの取組の中で、200字作文に継続して取り組んだりします

【数学】「説明する力」の定着を目指すため、授業の中では自分がわかったことを他の人に説明する時間を設けます。

【理科】「考察の妥当性について考える力」をつけるために、図や動画などを用いてイメージを持たせながら授業を進めます。

【生徒質問紙】スケジュール手帳を活用し、生活習慣を自分自身で振り返ったり修正したりしながらよりよく生活できるよう声掛けをしていきます。

＜家庭での取組＞

【学習】家庭で学習する時間を設けるよう声掛けをお願いします。

「学年×10分+10分」が目安とされています(1年生:80分/2年生:90分/3年生100分)

【生活】小樽市の「おたるスマート7」で目安とされている「1日2時間以内及び夜10時以降は使用しません」のルールをもとに、各家庭においてスマホの使用方法などについて話す機会を設けてください。



11月の行事予定

日	曜日	行事予定 ☆北陵学習室開講日 (S.C=スクールカウンセラー)
1	火	教育相談(全学年) ☆ 5時間授業
2	水	教育相談(全学年) ☆ 5時間授業
3	木	文化の日
4	金	教育相談(全学年) ☆ 5時間授業 漢字検定 薬物乱用防止教室(2年)
5	土	
6	日	
7	月	教育相談(全学年) ☆ 5時間授業
8	火	教育相談(全学年) ☆ 5時間授業
9	水	スクールカウンセラー 講話 ☆ S.C.
10	木	復習テストC(3年生) 進路保護者説明会(16:30~) 全国学テ説明会(16:00~)
11	金	拡大北陵学習室☆
12	土	小樽音読カップ
13	日	
14	月	2学期期末テスト 定時退勤日 職員会議(5時間授業)
15	火	2学期期末テスト ☆
16	水	☆
17	木	進路用写真撮影 ☆
18	金	☆
19	土	
20	日	
21	月	チャレンジテスト配信日 箒の授業(1年) ☆
22	火	校内研修(5時間授業) S.C. 箒の授業(1年)
23	水	勤労感謝の日 教育功労者表彰式
24	木	ユニクロプロジェクト発送日 ☆
25	金	分掌部会 (5時間授業) 定時退勤日
26	土	
27	日	
28	月	三者面談・保護者面談 ☆ 4時間授業(3年生のみ5時間)
29	火	三者面談・保護者面談 ☆ 4時間授業(3年生のみ5時間)
30	水	三者面談・保護者面談 ☆ 4時間授業(3年生のみ5時間)

雑巾の寄贈について

10月13日に北後志地区郵便局長夫人会(代表渡辺真由美)様より市内小中学校に雑巾の寄贈がありました。この雑巾は、校内の環境美化のために大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



秋の清掃活動

今年度「やれることから始めよう！」と村岡PTA会長の号令のもと、10月21日(金)16:00~PTA環境部と生徒会有志生徒、教職員で清掃活動をしました。地域の方々からも「ご苦労様！」と温かい声をかけて頂きました。次年度以降も、PTAと生徒会が連携して、ボランティア活動の一環として継続的に取り組んでいきます。



避難訓練

10月6日(木)に「危機予測・回避の能力を高めることができること」を目的に玄関前駐車場付近の崖の土砂崩れを想定し避難訓練を実施しました。この訓練を通して不測の事態に備えていきます。

24時間子供SOSダイヤル
0120-0-78310